

春日市
まちづくりに関するアンケート調査
結果報告書(概要版)

令和5年1月
福岡県春日市

1 まちの住み良さ

※各項目ごとに端数処理をしている関係で合計が100%にならないものがあります。

1 春日市は住みやすいと思う 94.8%

	今回（令和4年度）		前回（平成30年度）		前々回（平成26年度）
	回答率	増減（ポイント）	回答率	増減（ポイント）	回答率
住みやすい	94.8%	—	94.8%	↑0.6	94.2%
住みにくい	4.3%	↓0.2	4.5%	↑1.4	3.1%
無回答	0.9%	↑0.2	0.7%	↓2.0	2.7%

※表の「住みやすい」の数値は、「どちらかといえば住みやすい」を含む

※表の「住みにくい」の数値は、「どちらかといえば住みにくい」を含む

2 春日市に住み続けたい 89.3%

	今回（令和4年度）		前回（平成30年度）		前々回（平成26年度）
	回答率	増減（ポイント）	回答率	増減（ポイント）	回答率
住み続けたい	89.3%	↓2.1	91.4%	↓0.2	91.6%
市外に移りたい	8.2%	↓0.2	8.4%	↑3.4	5.0%
無回答	2.5%	↑2.4	0.1%	↓3.2	3.3%

※表の「住み続けたい」の数値は、「どちらかといえば住み続けたい」を含む

※表の「市外に移りたい」の数値は、「どちらかといえば市外に移りたい」を含む

3 春日市が好き 94.5%

	今回（令和4年度）		前回（平成30年度）
	回答率	増減（ポイント）	回答率
好き	94.5%	↓2.0	96.5%
嫌い	2.9%	↑0.3	3.2%
無回答	2.6%	↓2.3	0.3%

※表の「好き」の数値は、「どちらかといえば好き」を含む

※表の「嫌い」の数値は、「どちらかといえば嫌い」を含む

2 各行政分野に対する満足度・重要度

1 各行政分野に対する満足度（全42項目）

<上位5項目>

順位 (前回)	施策	満足度 (前回)
1 (1)	上水道の安定供給	92.2% (91.3%)
2 (2)	消防・救急体制の充実	88.9% (83.7%)
3 (3)	リサイクルの促進	84.2% (82.9%)
4 (4)	市民活動の活性化	80.1% (77.7%)
5 (21)	自然災害対策の充実	79.1% (63.5%)

<下位5項目>

順位 (前回)	施策	満足度 (前回)
38 (37)	駅周辺のにぎわいの創出	53.0% (43.3%)
39 (38)	歩道の環境整備	50.2% (43.1%)
39 (39)	地元商店・商店街の活性化	50.2% (41.3%)
41 (-)	春日原駅周辺の歩道整備	49.9% (-)
42 (41)	安全で快適な交通の確保	30.1% (27.9%)

- 上位項目は前回調査と同様の傾向となっています。
- 交通関係分野の施策に関する満足度が低い傾向にあります。

2 前回調査と比較して、満足度が上昇している5項目

順位	施策	今回 (%)	前回 (%)	上昇値 (ポイント)
1	自然災害対策の充実	79.1%	63.5%	15.6
2	交通標識の整備	55.6%	40.9%	14.7
3	バス・鉄道など公共交通の整備	57.2%	44.7%	12.5
4	駅周辺のにぎわいの創出	53.0%	43.3%	9.7
5	地元商店・商店街の活性化	50.2%	41.3%	8.9

- 自然災害対策についての満足度が大きく上昇しています。
- 交通関係分野の施策に関する満足度が上昇しています。

3 前回調査と比較して、満足度が低下している3項目

順位	施策	今回 (%)	前回 (%)	低下値 (ポイント)
1	男女の平等参画	69.9%	74.3%	4.4
2	人権の尊重	74.5%	75.9%	1.4
3	地域住民の交流の促進	66.2%	66.4%	0.2

○前回調査と比較し満足度が低下した項目は上記3項目のみでした。

4 各行政分野に市民が感じる相対的な重要度 (全42項目)

<上位5項目>

順位 (前回)	施策	重要度 (前回)
1 (1)	上水道の安定供給	93.0% (93.5%)
2 (3)	交通標識の整備	92.6% (92.7%)
3 (7)	バス・鉄道など公共交通の整備	92.4% (92.1%)
3 (6)	自然災害対策の充実	92.4% (92.2%)
5 (5)	歩道の環境整備	91.8% (92.3%)

<下位5項目>

順位 (前回)	施策	重要度 (前回)
38 (32)	市民の行政への参加意欲の向上	80.7% (84.1%)
39 (38)	生涯学習成果を活かす機会の創出	79.1% (78.1%)
40 (39)	地域住民の交流の促進	78.2% (77.8%)
41 (40)	歴史遺産や文化財の保全・継承・活用	75.9% (74.7%)
42 (41)	文化芸術にふれる機会の充実	75.1% (71.7%)

○上位項目、下位項目ともに前回調査と同様の傾向となっています。

○満足度が高い「上水道の安定供給」、「自然災害対策の充実」の重要度が高く評価されている一方で、満足度が低い交通関係分野（歩道の環境整備など）の項目についても重要度が高いと評価されています。

5 重要度と満足度の相関図による分析

(1) 相関図分析の概要

調査で得られた各施策の重要度と満足度をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、42の施策の相対的な関係を散布図上に示したものが次の相関図です。

相関図の各領域は、以下のような傾向を示しています。

A. 重要度が高く、満足度が低い(重点化・見直し領域)

今後のまちづくりにおける重要度が高いが、満足度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め満足度を高める必要のある領域。

B. 重要度、満足度ともに高い(現状維持領域)

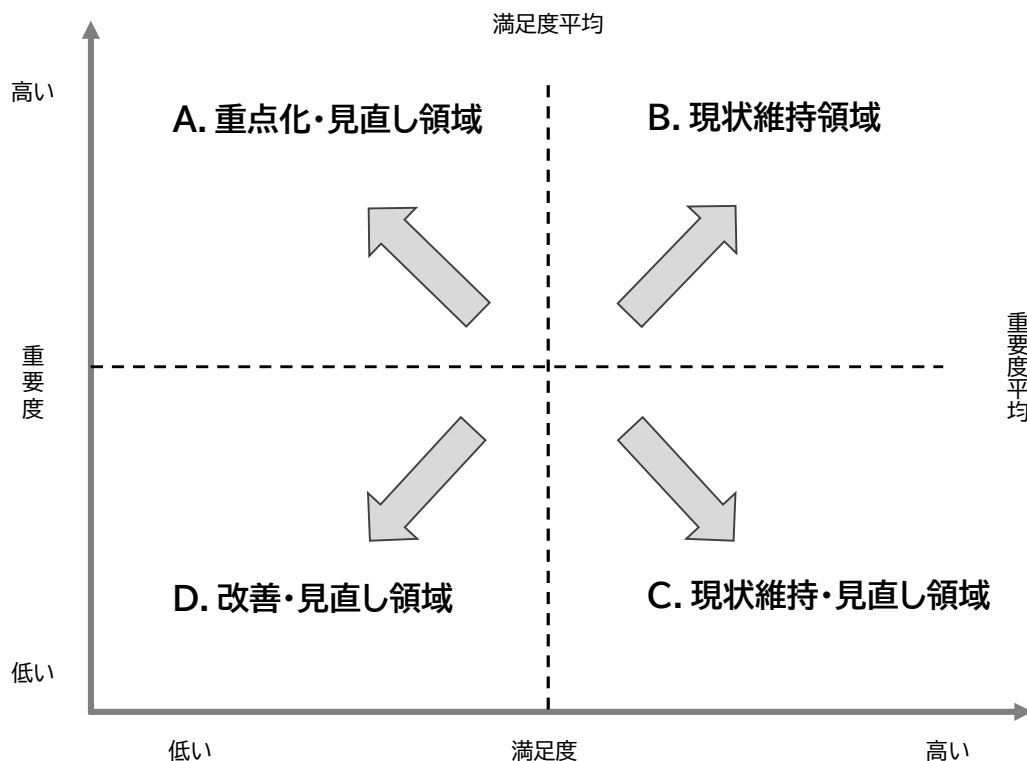
今後のまちづくりにおける重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準を維持していくとともに、費用対効果を高めるための改善が必要な領域。

C. 重要度が低く、満足度が高い(現状維持・見直し領域)

今後のまちづくりにおける重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて見直すべき必要のある領域。

D. 重要度、満足度ともに低い(改善・見直し領域)

今後のまちづくりにおける重要度も満足度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものをあらためて見直す必要のある領域。

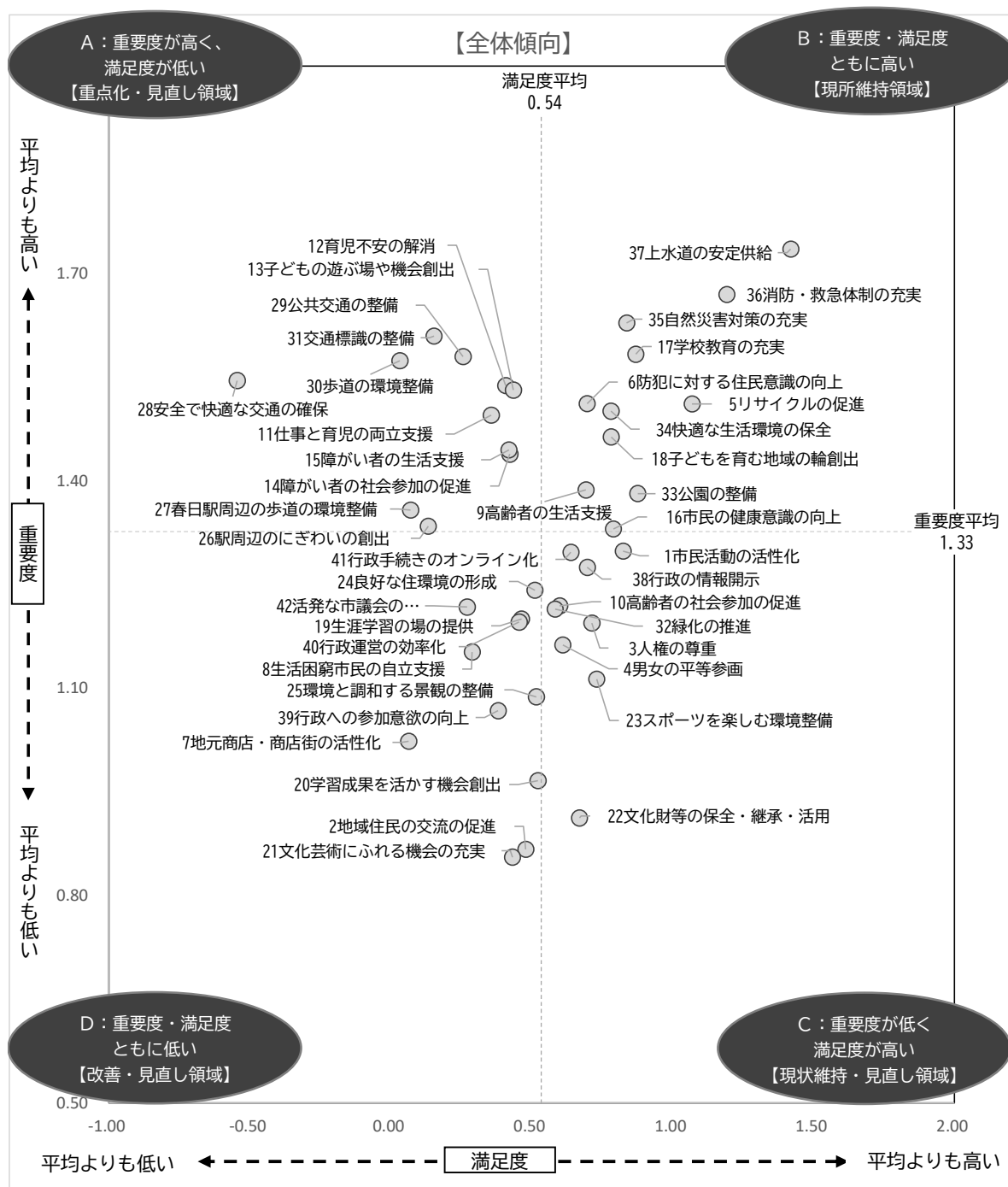


※中心から離れるほど各領域でその傾向が強いと言えます。

(2) 分析

<分析>

- 重点分野となる**A. 重点化・見直し領域**では、「28安全で快適な交通の確保」「31交通標識の整備」「29公共交通の整備」「30歩道の環境整備」など交通関係の分野が傾向の強い施策となっています。
- 満足度、重要度ともに高い**B. 現状維持領域**は、「37上水道の安定供給」「36消防・救急体制の充実」、満足度が高く、重要度が低い**C. 現状維持・見直し領域**は、「23文化財の保全・継承・活用」、重要度・満足度ともに低い**D. 改善・見直し領域**は、「21文化芸術にふれる機会の充実」「2地域住民の交流の促進」がそれぞれ傾向の強い施策となっています。



3 施策の優先度、市民参画の意識

1 市が取り組むまちづくりとして、優先順位が相対的に高いもの

※各回答者が全42項目から5項目まで選択（回答）

<今回調査 上位5項目>

順位 (前回)	施策	回答率 (前回)
1 (5)	仕事と育児の両立支援	29.4% (25.6%)
2 (2)	安全で快適な交通の確保	25.5% (28.0%)
3 (1)	高齢者の生活支援	22.9% (28.5%)
4 (8)	学校教育の充実	21.9% (17.9%)
5 (3)	バス、鉄道など公共交通の整備	21.5% (26.9%)

<前回調査 上位5項目>

順位	施策
1	高齢者の生活支援
2	安全で快適な交通の確保
3	バス、鉄道など公共交通の整備
4	防犯意識の向上
5	仕事と育児の両立支援

○子育て支援や教育分野を優先的に推進すべきという声が増えています。

○前回調査と比較すると上位項目はほぼ同様の傾向です。

2 市が取り組むまちづくりとして、優先順位が相対的に低いもの

※各回答者が全42項目から5項目まで選択（回答）。上位のものほど優先順位が低いことを示す。

<今回調査 上位5項目>

順位 (前回)	施策	回答率 (前回)
1 (6)	駅周辺のにぎわいの創出	17.0% (14.8%)
2 (3)	生涯学習成果の機会の提供	15.5% (19.2%)
3 (1)	文化芸術にふれる機会の充実	14.5% (21.4%)
3 (2)	景観の整備	14.5% (19.8%)
5 (4)	緑化の推進	13.4% (16.6%)

<前回調査 上位5項目>

順位	施策
1	文化芸術にふれる機会の充実
2	景観の整備
3	生涯学習成果の機会の提供
4	緑化の推進
5	商店街の活性化

○前回調査と比較すると上位項目はほぼ同様の傾向です。

3 市民が地域活動やボランティア活動で積極的に関わった方がよいもの

※各回答者が全42項目から5項目まで選択（回答）

<今回調査 上位5項目>

順位 (前回)	施策	回答率 (前回)
1 (1)	子どもを育む地域の輪の創出	27.8% (29.5%)
2 (2)	防犯意識の向上	25.3% (26.5%)
3 (4)	リサイクルの促進	23.0% (23.1%)
4 (5)	地域住民の交流の促進	20.2% (18.7%)
5 (10)	育児不安の解消	16.4% (14.1%)

<前回調査 上位5項目>

順位	施策
1	子どもを育む地域の輪の創出
2	防犯意識の向上
3	高齢者の生活支援
4	リサイクルの促進
5	地域住民の交流の促進

○前回調査と比較すると上位項目はほぼ同様の傾向ですが、「育児不安の解消」が順位を伸ばしています。

4 子どもの数

1 現実と理想の子どもの数

<理想の数 上位3項目>

順位 (前回)	理想の子どもの数	回答率 (前回)
1 (1)	2人	40.0% (48.4%)
2 (2)	3人	37.2% (39.8%)
3 (3)	4人	6.5% (4.7%)

<現実の数 上位3項目>

順位 (前回)	現実の子どもの数	回答率 (前回)
1 (1)	2人	51.0% (51.8%)
2 (2)	3人	20.4% (20.9%)
3 (3)	1人	15.1% (15.2%)

理想の子どもの数	人数
今回平均	2.60人
前回平均	2.50人

現実の子どもの数	人数
今回平均	2.04人
前回平均	2.00人

- 前回調査と比較すると上位項目は全く同じでしたが、理想の子どもの数で、3人、4人を望む声が若干増えています。
○理想の子どもの数、現実の子どもの数ともに、前回調査より平均人数が微増しています。

2 子どもの数が理想より少ない理由

※各回答者が12項目から3項目まで選択（回答）

<今回調査 上位5項目>

順位 (前回)	理由	回答率 (前回)
1 (1)	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	55.8% (46.0%)
2 (2)	年齢上の理由から	24.1% (26.6%)
3 (3)	ほしいけれどもできないから	17.6% (22.1%)
3 (8)	家があまり広くないから	13.1% (5.7%)
5 (7)	自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	12.6% (6.5%)

<前回調査 上位5項目>

順位	理由
1	子育てや教育にお金がかかりすぎるから
2	年齢上の理由から
3	ほしいけれどもできないから
4	健康上の理由から
5	これ以上育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから

- 前回調査と比較すると上位項目はほぼ同様の傾向が、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」の割合が大きく増えています。